

第1日 9月26日(土) 9:00~10:30

時間	A会場 342 果樹 I	B会場 343 果樹 II	C会場 254 果樹 III	D会場 203 野菜 I	E会場 103 野菜 II	F会場 101 野菜 III
9:00	<p>育種(ブルーベリー他) 座長 伴 琢也</p> <p>果 001 北海道に自生するスノキ属野生種果実のアントシアニン組成の比較 ○横田蘭¹・宮坂佳代¹・脇田陽一²・鈴木卓¹・鈴木正彦¹(¹北海道大院農,²北海道立林試)</p>	<p>マーカー・遺伝子解析 I 座長 金山 喜則</p> <p>果 028 カンキョウ多胚性遺伝子座ゲノム領域の塩基配列決定と発現解析 ○中野道治¹・藤井浩¹・木越景子²・島田武彦¹・遠藤朋子¹・清水徳朗¹・蝦名真澄³・大村三男²(¹農研機構果樹研,²静岡大農学部,³農研機構畜草研)</p>	<p>不和合性(カンキョウ他) 座長 久保 達也</p> <p>果 055 S対立遺伝子がホモである「晩白楠」S1(S₁S₁, S₂S₂)の作出とS₁またはS₂を持つカンキョウの同定 ○森智代¹・金貞希¹・若菜章²・酒井かおり²(¹九州大院植物資源環境科学府,²九州大院農学研究科)</p>	<p>遺伝子解析 座長 浅尾 浩史</p> <p>野 001 トウガラシ果実における新規機能性物質カプシノイドの生合成にはp-AMT 遺伝子の変異が関与する ○田中義行¹・細川宗孝¹・三輪哲也²・土井元章¹・矢澤進¹(¹京都大院農学研究科,²味の素(株)健康基盤研)</p>	<p>花芽分化(イチゴ) 座長 鹿野 弘</p> <p>野 029 イチゴの夜冷短日処理と窒素追肥処理による第1次えき花房の花成誘導の品種間差異 ○藤尾拓也・佐藤弘(岩手農研セ)</p>	<p>座長 岡田 邦彦</p> <p>野 056 異なる施肥量がミズナの生育と葉内成分に及ぼす影響 ○近藤謙介¹・市原祐美子²・上真里恵²・和島孝浩²・園師一文³・白土英樹²・松添直隆²(¹石川県立大生物資源環境学部,²熊本県立大環境共生学部,³高岡大短期大)</p>
9:15	<p>果 002 ブルーベリーの種間雑種の系統における耐乾性評価方法の検討 ○菊池知古¹・山之内利治¹・堀内尚美²・萩原勲²(¹東京農経研セ,²東京農工大農学府)</p>	<p>果 029 アジアのクリの遺伝学的分類(第10報)クリ種間および種内における葉緑体 SSR 遺伝子座の変異 ○井上栄一・倉林樹・寧林・本間貴司・原弘道(茨城大農学部)</p>	<p>果 056 S対立遺伝子をホモに持つ自家不和合性カンキョウ S₁実生群の作出とそのS対立遺伝子型の同定 ○金貞希¹・森智代¹・松本渚²・若菜章³・酒井かおり³(¹九州大院植物資源環境科学府,²九州大農学部,³九州大院農学研究科)</p>	<p>野 002 トマトの有機酸トランスポーター S1D1T1 ○松浦由布子¹・青木考²・柴田大輔²・山本昭平^{1*}・山田邦夫¹・白武勝裕¹(¹名古屋大院生命科学研究所,²(財)かずさDNA研,³中部大応用生物学部)</p>	<p>野 030 間欠冷蔵処理によるイチゴ「女神」の花芽分化促進 吉田裕一^{1,2}・尾崎英治¹(¹岡山大農学部,²(有)のぞみふぁーむ)</p>	<p>野 057 異なる窒素施用形態に対する栄養養生長期のナバナの生育反応 ○永田憲司¹・名田和義¹・藪田信次²・平塚伸¹(¹三重大院生物資源学研究所,²三重農研)</p>
9:30	<p>果 003 クロマメノキとラビットアイブルーベリー T100 との種間交雑より得られた系統の評価 ○執行みさと¹・森田恭代¹・岡野亜衣子¹・西村謙一¹・國武久登²・小松春喜¹(¹東海大農学部,²宮崎大農学部)</p>	<p>果 030 リンゴ品種「メイポール」の交雑後代における果肉の着色程度と果皮色との関係 ○伴野瀬・平松裕子(信州大農学部)</p>	<p>果 057 自家不和合性を示すピロ遺伝資源の発見 ○中山久之・富永由紀子*・稗園直史・福田伸二(長崎農技七果樹,¹長崎県立振興局農林)</p>	<p>野 003 トマト ABC 輸送体 SIPDR1 の機能解析 ○鈴木真実¹・日置淳平¹・青木考²・柴田大輔²・山本昭平³・山田邦夫¹・松本省吾¹・白武勝裕¹(¹名古屋大院生命科学研究所,²(財)かずさDNA研,³中部大応用生物学部)</p>	<p>野 031 イチゴにおけるクラウン部の管理温度の違いが連続出蓄性に及ぼす影響(第6報)早期花芽分化苗とクラウン温度管理技術を利用した年内2果房採りを可能とする多収生産技術の確立 ○曾根一純¹・中原俊二¹・壇和弘¹・沖村誠¹・伏原肇²・北谷恵美¹・木村貴志¹(¹農研機構九州沖縄農研,²(株)ナチュラルステップ)</p>	<p>野 058 有機質肥料を用いた低温期のレタスセル成型育苗における初級くん炭覆土が苗の生育と窒素吸収に及ぼす影響 ○佐藤文生¹・加藤直人²(¹農研機構野菜茶研,²農研機構中央農研)</p>
9:45	<p>果 004 「サマーフェスティバル」とナガバロミジイチゴとの種間交雑より得られた系統の評価 ○竹馬昂平¹・下川正代¹・岩崎雄一¹・村田和重¹・藤田久登²・小松春喜¹(¹東海大農学部,²宮崎大農学部)</p>	<p>果 031 「JM7」とミツバカイドウ「サナン 63」の連鎖地図の高密度化 ○森谷茂樹¹・岩波宏¹・古藤田信博¹・山本俊哉²・阿部和幸¹(¹農研機構果樹研(盛岡),²農研機構果樹研)</p>	<p>カンキョウ I 座長 生駒 吉誠</p> <p>果 058 水ストレス処理によるカンキョウ合成間緑キメラ「エクリーグ 65」の糖、β-クリプトキサンチン、フラボノイド含量の変化 ○井上久雄¹・隅田孝司²・松長崇³・坂部英理子²・藤原文孝⁴・脇塚巧⁵(¹愛媛みかん研,²えひめ飲料(株),³愛媛食産技セ,⁴愛媛果樹研セ,⁵全農えひめ柑橘研)</p>	<p>野 004 トマト果実発達過程における ADP-glucose pyrophosphorylase 遺伝子の発現制御解析 ○松倉千昭¹・尹永根¹・讀岐温子¹・福田直也¹・近藤悟²・菅谷純子¹・江面浩¹(¹筑波大院生命環境科学,²千葉大院園芸)</p>	<p>野 032 固形培地耕におけるイチゴ「章姫」の花芽発達期の日中培地加温が花芽発達、開花特性に及ぼす影響 ○小松芳則¹・三原純¹・金泳錫¹・遠藤昌伸²・切岩岩和¹・糠谷明¹(¹静岡大農学部,²新潟農総研園研セ)</p>	<p>野 059 牛糞オガクズ堆肥の連用によるスイートコーン及びレタスの化学肥料減肥栽培 ○橋本真穂・久田紀夫・林恭弘(和歌山農技七農試)</p>
10:00	<p>育種(ナシ) 座長 齋藤 寿広</p> <p>果 005 ニホンナシ新品種「早優利」の特性について 田辺賢二^{1,2}・中原士元¹・田村文男¹(¹鳥取大農学部,²鳥取二十世紀梨記念館)</p>	<p>マーカー・遺伝子解析 II 座長 清水 徳郎</p> <p>果 032 real-time PCR 法を用いたカキの AS7 遺伝子座における遺伝子型の推定 ○武田有美¹・赤木剛士¹・佐藤明彦²・山田昌彦²・米森敬三¹(¹京都大院農学研究科,²農研機構果樹研)</p>	<p>果 059 カンキョウグリーンング病罹病樹接木接種によるカンキョウ類評価 ○斎藤彰¹・菊池悦男²・岡田吉弘¹・岩波徹³・國武久登⁴(¹農研機構九州沖縄農研,²東海大農院,³農研機構果樹研,⁴宮崎大農学部)</p>	<p>育種・品種(トマト) 座長 片岡 圭子</p> <p>野 005 ナショナルバイオリソースプロジェクト「トマト」: 矮性品種「Micro-Tom」を基盤としたリソースの整備状況 ○斎藤岳士¹・有泉亨¹・浅水恵理香¹・山崎由紀子²・鈴木桐子³・矢野健太郎³・溝口剛¹・福田直也¹・松倉千昭¹・青木考⁴・江面浩¹(¹筑波大院生命環境科学研究所,²国立遺伝研,³明治大農学部,⁴かずさDNA研)</p>	<p>栽培(イチゴ) 座長 森 利樹</p> <p>野 033 イチゴ高設栽培におけるランナー子苗を活用した栽培に関する研究(第1報)ランナー子苗の発生時期と着生個数が出番時期と収量に及ぼす影響 ○安部貞昭¹・畑山とも子²・佐藤如¹・山田芳文¹(¹大分県林水産研野菜,²大分県園芸振興室)</p>	<p>施肥・栽培(その他) 座長 佐藤 文生</p> <p>野 060 追肥窒素の施用方法の違いがナガイモの生育、窒素吸収に及ぼす影響 ○細田洋一¹・木村一哉²(¹(地独)青森産技七野菜研究所,²青森食の安全・安心推進課)</p>
10:15	<p>果 006 ニホンナシ新品種「優秋」の特性について 田辺賢二^{1,2}・○中原士元¹・田村文男¹(¹鳥取大農学部,²鳥取二十世紀梨記念館)</p>	<p>果 033 マメガキを用いたポジショナルクロニング法によるカキの甘渋性制御遺伝子(AS7 遺伝子)存在領域の特定 ○辻本誠幸¹・赤木剛士¹・河野淳²・三谷宣仁²・米森敬三¹(¹京都大院農学研究科,²農研機構果樹研)</p>	<p>果 060 収穫から選果までの間にレモン果実が受ける衝撃解析 ○池田裕朗¹・石川豊²・澤村明²・赤阪信二¹・塩田俊¹(¹広島総研農技セ,²食総研)</p>	<p>野 006 トマトの開花時期を制御する QTL 発現に及ぼす温度の影響 カガス-ファグタオ, C.C. ○李温裕¹・根本圭介¹・杉山信男(東京大院農学生命科学研究所)</p>	<p>野 034 移動ベンチを利用したイチゴ密植栽培システムにおける品種比較 ○岩崎泰永¹・高橋信行¹・高藤貞文²・山本聡史²(¹宮城農園総研,²生研セ)</p>	<p>野 061 肥料種による土壌有機物貯留特性とエダマメ収量・品質への影響 ○佐野修司¹・久保田知美²・木浦秀至³・山崎基嘉¹・高井雄一郎¹・内山知二¹(¹大阪農水産総研,²大阪中部農と緑,³JA 大阪中河内)</p>

第1日 9月26日(土) 9:00~10:30

G会場 102 野菜IV	H会場 405 花きI	I会場 402 花きII	J会場 305 花きIII	K会場 107 利用I	L会場 302 利用II	時間
<p>栽培(その他) 座長 大和 陽一</p> <p>野 084 電動型半自動多条移植機を用いたエダマメの生産技術の開発 ○藤原隆広・馬野幸紀(ジャパン・アグロノミクス株式会社)</p>	<p>品種特性 座長 田淵 俊人</p> <p>花 001 カーネーション新品種‘こんべいとろ’および‘長崎1606’の育成 ○塩山妙子(長崎農機セ)</p>	<p>収穫後生理I 座長 市村 一雄</p> <p>花 027 光および温度条件が観葉植物の觀賞持続性に及ぼす影響 ○新井聡・大石一史(愛知農総試)</p>	<p>栽培・作型I 座長 後藤丹十郎</p> <p>花 054 ヒマワリの少量培地栽培における適正施肥量 ○甲斐千代・渡邊英城(大分農研花き)</p>	<p>青果物の物性 座長 堀江 秀樹</p> <p>利 001 携帯型振動硬度計によるピオーネ収穫適期の判定および果実硬度と酸度・糖度との相関 ○櫻井直樹¹・タスマナバルビン¹・藤若将浩²・鶴永陽子³(広島大生物圏,²金城町ぶどう生産者協議会,³広島文教女子大)</p>	<p>果菜・葉菜の品質 座長 椎名 武夫</p> <p>利 022 カボチャ品種‘TC2A’の果実成分に及ぼす貯蔵温度の影響 ○嘉見大助・菊地貴・室崇人・杉山慶太(農研機構北海道農総研)</p>	9:00
<p>野 085 豆類の連作圃場における活性炭を利用したエダマメのアレロパシー軽減技術の確立 ○元木悟¹・西原英治²・上原敬義¹・北澤裕明³・酒井浩晃¹・矢ヶ崎和弘⁴・重盛勲¹(¹長野野菜花き試北信支場,²鳥取大農学部,³農研機構食総研,⁴長野野菜花き試)</p>	<p>花 002 スイートピー品種における旗弁の花色による分類 ○中村薫^{1,2}・福元孝一^{1*}・明石良³(¹宮崎総農試,²宮崎大院農工総研科,³宮崎県庁,⁴宮崎大フロンティア科実総セ)</p>	<p>花 028 シクラメン鉢物の出荷後の光環境と日持ちとの関係 ○土井元章¹・田邊桂子²・武馬寛(信州大農学部, 京都大院農学研究所)</p>	<p>花 055 明期終了時の短時間光照射が各種花増苗および切り花ストックの生育に及ぼす影響 ○加藤正浩¹・岸本真幸¹・前田香那子¹・山田真²・石渡正純²・住友克彦³・久松完³(¹鳥取農総研園試,²パナソニック電工,³農研機構花き研)</p>	<p>利 002 音響法を用いたスイカの食感測定 ○岩谷真一郎¹・大澤雅子²・櫻井直樹¹(¹広島大院生物圏研究科,²(株)萩原農場生産研究所)</p>	<p>利 023 施設生産に適した高リコベントマト品種の検索 ○中誠試・塚澤和憲(埼玉農総研七園研)</p>	9:15
<p>野 086 近紫外線除去フィルム被覆下のコカブの生育 ○野口貴¹・荒木俊光¹・海保富士男¹・市村拓野²(¹東京農林総研セ,²MKVプラテック(株))</p>	<p>花 003 マーガレットとハナワギクの属間雑種における花弁の色素成分に及ぼす開花時期の影響 ○稲葉善太郎¹・馬場富二夫¹・石井ちか子¹・石井香奈子¹・岸本早苗²・大宮あけみ²(¹静岡農林研伊豆農研セ,²農研機構花き研)</p>	<p>花 029 MA包装および1-MCP処理がカーネーション鉢花の品質と袋内ガス組成に及ぼす影響 ○大平若菜¹・山根健治¹・竹田聡史¹・八巻良和(宇都宮大農学部)</p>	<p>花 056 遠赤色光電球形蛍光ランプによるキンギョソウの秋冬期における開花促進 ○佐藤武義¹・西村林太郎^{1*}・大川秀樹²・森山殿興³・金山喜則⁴(¹山形農総研七園試,²山形県庁,³東芝ライテック(株),⁴東北大院農学研究所)</p>	<p>利 003 カキ‘富有’における果実硬度の非破壊測定 ○鈴木哲也¹・新川猛¹・櫻井直樹²(¹岐阜農機セ,²広島大学院生物圏科学研究科)</p>	<p>利 024 ニラの機能性成分含有量の部位別および時期別の推移 ○齋藤容徳¹・大島一則²・矢吹友二³・宇田靖³(¹栃木農試,²上野農機振興事務所,³宇都宮大農学部)</p>	9:30
<p>野 087 人工気象室育苗苗を用いた加工用ワサビ栽培期間の短縮 ○日高輝雄¹・廣林祐一¹・古江寿和²・杉山久枝³(¹山口農林総研セ,²岩国農林事務所,³山口農林事務所)</p>	<p>育種I 座長 稲葉善太郎</p> <p>花 004 イオンビーム照射により得られた芳香シクラメン(Cyclamen persicum × C. purpurascens)の変異体の花色と香気成分 ○近藤恵美子¹・中山真義²・高村武二郎³・栗原康⁴・早乙女孝⁴・長谷純宏⁵・田中淳⁵・石坂宏¹(¹埼玉農総研七園研,²農研機構花き研,³香川大農学部,⁴小川香料(株),⁵原子力機構)</p>	<p>収穫後生理II 座長 土井 元章</p> <p>花 030 脱酸素剤を用いた切り花包装技術 ○湯本弘子・市村一雄(農研機構花き研)</p>	<p>花 057 光強度の違いがシネンシス系ハイブリッドスターチスの生育および開花に及ぼす影響 ○海保ひとみ・鈴木亮子・生方雅男(北海道花野技セ)</p>	<p>利 004 二方向引張り試験による収穫時期の異なる寒玉キャベツの加工適性評価 ○神山かおる¹・田中敏江¹・高田敦之²(¹農研機構食総研,²神奈川農機セ)</p>	<p>利 025 ネギ食味の簡易評価法の開発 ○家壽多正樹・宮城淳¹・日坂弘行(千葉農林総研,*千葉産技研)</p>	9:45
<p>栽培(アスパラガス) 座長 元木 悟</p> <p>野 088 秋期の低温処理が伏せ込み促成栽培のアスパラガス萌芽に及ぼす影響 ○山口貴之・高橋拓也・漆原昌二(岩手農研セ)</p>	<p>花 005 イオンビーム再照射による芳香シクラメンの変異体作出 ○近藤恵美子¹・亀有直子¹・中山真義²・秋田祐介³・長谷純宏³・谷川奈津²・森田裕将²・石坂宏¹(¹埼玉農総研七園研,²農研機構花き研,³原子力機構)</p>	<p>花 031 キンギョソウ切り花におけるアントシアンとオーロン合成に及ぼす糖質の影響 ○市村一雄・仁本朋子・渋谷健市・湯本弘子(農研機構花き研)</p>	<p>栽培・作型II 座長 稲本 勝彦</p> <p>花 058 アジサイ半促成栽培における変温管理 ○神門卓巳・吾郷宏光(島根農機セ)</p>	<p>利 005 水生被子植物の分光スペクトル測定 ○小澤あつみ・大溝奈々・今市涼子・今井元(日本女子大理学部)</p>	<p>利 026 野菜果物における特性モデルについて(第2報)複数イチゴ果実の糖酸分布の比較 ○打田宏・今野哲・清野聡美(全農)</p>	10:00
<p>野 089 山形県における伏せ込み促成栽培アスパラガスの掘り取り時期と萌芽特性および根株への低温処理が萌芽に及ぼす影響 ○永峯淳一¹・中西政則²(¹山形農総研七園試,²山形村山支庁)</p>	<p>花 006 都合により発表取り下げ</p>	<p>開花生理・関連遺伝子 座長 棚瀬 幸司</p> <p>花 032 糖代謝の開花における役割と切花品質への影響 ○堀部貴紀・松本省吾・山田邦夫・白武勝裕(名古屋大院生命農学研究所)</p>	<p>花 059 クリスマスローズの花芽形成と開花に及ぼす温度の影響 ○乗越亮¹・小池安比古¹・新舟直幸²・今西英雄¹(¹東京農業大農学部,²(株)新舟ナーセリー)</p>	<p>果実成分・貯蔵 座長 櫻井 直樹</p> <p>利 006 モモ果実の樹上における揮発性物質のプロファイリングおよびその抗菌活性 ○齋藤隆徳¹・瀬古澤由彦¹・菅谷純子¹・大久保直美²・弦間洋¹(¹筑波大院生命環境科学研究所,²農研機構花き研)</p>	<p>葉茎菜の鮮度保持 座長 今堀 義洋</p> <p>利 027 オオバ生菜の棚持ち期間の個体間差と過酸化水素生成 ○安藤秀樹・馬場正・真子正史・山口正己(東京農大農学部)</p>	10:15

時間	A 会場 342 果樹 I	B 会場 343 果樹 II	C 会場 254 果樹 III	D 会場 203 野菜 I	E 会場 103 野菜 II	F 会場 101 野菜 III
10:30	<p>果 007 東北地方より収集したナンシ遺伝資源(第3報)糖類および有機酸の含量と組成 ○松村有一郎¹・野村啓一²・三宅幹雄¹・賀重文¹・正木健太郎¹・植松千代美³・片山寛則¹(¹神戸大院農食資源セ,²神戸大院農学研究科,³大阪大院理植物園)</p>	<p>果 034 カキの甘渋性を決定する <i>DkMyb4</i> の季節的発現制御因子についての解析 ○赤木剛士¹・池上礼子²・小林省蔵³・佐藤明彦³・米森政三¹(¹京都大院農学研究科,²石川県立大生物資源環境学部,³農研機構果樹研)</p>	<p>カンキツII 座長 井上 久雄 果 061 無核紀州型の無核性発現を抑制する温度条件 ○山崎安津¹・金好純子²・古田貴音²・我藤雄³・文室政彦³・羽生剛⁴・北島宣⁴(¹京都大院農学研究科,²広島総研農技セ,³近畿大附属農場,⁴京都大院農学研究科附属農場,⁵農研機構果樹研(興津))</p>	<p>野 007 ミラクリン生産を目的とした植物工場用組換えトマトの開発 ○加藤一幾¹・吉田理一郎¹・平井正良¹・菊崎綾子²・黒田浩文²・高根健一²・棚瀬(日和佐)京子¹・江面浩¹・溝口剛¹(¹筑波大院生命環境科学研究科,²(株)インプラントイノベーションズ)</p>	<p>野 035 「イチゴ株据置栽培」での培地冷却が花芽分化に及ぼす影響 ○伊藤栄治¹・山崎敬亮²(¹広島農研農技セ,²中四農研)</p>	<p>野 062 人工光条件下で検討した高炭酸ガス濃度条件がキャベツ・レタスの生態特性に及ぼす影響 ○岡田邦彦(農研機構野菜茶研)</p>
10:45	<p>育種・遺伝資源(キウイフルーツ・リンゴ) 座長 森谷 茂樹 果 008 日本の暖地に自生分布するシマサルナシ (<i>Actinidia rufa</i>) の果実形質 ○金銀國¹・片岡郁雄¹・福田哲生²・別府賢治¹(¹香川大農学部,²香川農試府中分場)</p>	<p>果 035 カキ「西条」における分子生物学的手法を用いた来歴不明な系統判別 ○豊田賢治¹・松本敏一²・倉橋孝夫²・持田圭介²・神田己樹夫²・牧慎也¹(¹新居浜高専,²島根県農技セ)</p>	<p>果 062 ウンシュウミカン果皮で固定された CO₂ は果汁成分に変換される ○平塚伸・横山佑佳・名田和義(三重大院生物資源学研究科)</p>	<p>野 008 トマト液栽培における培養液濃度が「Geronimo」と「桃太郎8」との交雑F₂集団の収量、1果重および糖度に及ぼす影響 ○松本啓・大山暁男・齊藤猛雄・斎藤新(農研機構野菜茶研)</p>	<p>野 036 寒冷地でのイチゴ秋春二期どり栽培における簡易環境制御による収穫期間の延長 ○山崎浩道・濱野恵・矢野孝喜・本城正憲・森下昌三(農研機構東北農研)</p>	<p>野 063 業務・市場流通向けジネンジョの栽植密度が新芽の収量・品質に及ぼす影響 ○番喜宏¹・加藤裕文²(¹愛知農試山間農研,²元愛知農試山間農研)</p>
11:00	<p>果 009 いくつかの <i>Actinidia</i> 属植物における <i>Pythium</i> 菌による腐敗の違い ○清水伸一^{1,2}・三好孝典^{1,3}・宮田信輝¹・井門健太¹(¹愛媛農水研果樹研セ,²愛媛県農水産部,³愛媛県中子地方産業経済部)</p>	<p>カキ 座長 倉橋 孝夫 果 036 カキ「富有」の超低樹高一文字整枝が作業性、収量および果実品質に及ぼす影響 ○藤島宏之・千々和浩幸・白石美樹夫・牛島孝策・松田和也(福岡農試,⁸八女農改セ)</p>	<p>果 063 環状剥皮したカンキツ果実の光合成と果皮・果汁の糖濃度 ○西村浩志・横山佑佳・名田和義・平塚伸(三重大院生物資源学研究科)</p>	<p>育種・品種(果菜類) 座長 杉山 慶太 野 009 促成栽培における単為結果性品種「あのみり」の特性 ○木下剛仁¹・石橋泰之¹・西美友紀¹・中島寿魚¹・齊藤猛雄²(¹佐賀農試研セ,²農研機構野菜茶研)</p>	<p>栽培(イチゴ)II 座長 柳 智博 野 037 種子繁殖型イチゴ品種の育成(第4報)種子繁殖型イチゴにおける採種時期と果実熟度が種子の発芽に及ぼす影響 ○前田ふみ¹・伊藤善一²・丸尾達²・木庭卓人²・石川正美¹(¹千葉農林研セ,²千葉大園芸学部)</p>	<p>栽培(キャベツ) 座長 村上 健二 野 064 寒玉系キャベツの4、5月どりを可能にする栽培技術体系(第5報)栽植密度と施肥量が4月どり寒玉系キャベツの結球特性に及ぼす影響 ○太田和宏・高田敦之・北浦健生・北宜裕(神奈川農技セ)</p>
11:15	<p>果 010 リンゴ新品種「秋田紅ほっぺ」上田仁悦^{***}・照井真^{***}・丹波仁^{***}・佐々木美佐子^{***}・高橋功^{***}・加賀谷松和^{***}・小林香代子^{***}・佐藤廣^{***}(秋田農試七果樹試,^{***}秋田農試七果樹試天王分場,^{***}秋田農試七果樹試鹿角分場,^{***}退職)</p>	<p>果 037 生育期間中の気温および標高の違いがカキ「富有」の果実生育ならびに品質に及ぼす影響 ○千々和浩幸¹・藤島宏之¹・白石美樹夫¹・下村昌二²・松尾昭彦³(¹福岡農試,²朝倉農改普セ,³久留米農改普セ)</p>	<p>カンキツIII 座長 草場新之助 果 064 温暖化条件下におけるウンシュウミカンの着花数に及ぼす冬季の炭水化物含量および葉の水ポテンシャルの影響 ○小野拓生¹・浅井信吾¹・岩崎直人²(¹明治大院農学研究科,²明治大農学部)</p>	<p>野 010 ヒラナスの細胞質を利用したナスの雌性不稔系統の育成 ○カーン M.M.R.・一色司郎(佐賀大農学部)</p>	<p>野 038 イチゴ種子の成熟率と発芽率に及ぼす果実熟度と果実内着床位置の影響 ○森利樹・北村八祥(三重農研)</p>	<p>野 065 寒玉系キャベツの4、5月どりを可能にする栽培技術体系(第6報)三浦半島における4、5月どり寒玉系品種の多収栽培技術の検討 ○高田敦之・太田和宏・北浦健生・北宜裕(神奈川農技セ)</p>
11:30	<p>果 011 リンゴ「あおり27」の果肉が褐変しない特性に関する研究(第2報)成熟過程における果肉の褐変程度 ○今智之¹・Holderbaum, Ferreira Daniel²・工藤剛¹・深澤(赤田)朝子¹(¹青森産技セりんご研,²サンタカタリーナ大農学部)</p>	<p>果 038 カキの品種、成熟、栽培方法によるトリテルペノイド含有量への影響 ○新川猛¹・大口健司²・鈴木哲也¹・飯沼宗和³(¹岐阜農試セ,²(財)岐阜国際バイオ研,³岐阜薬科大)</p>	<p>果 065 杯状形・樹冠下部結実法におけるウンシュウミカンの果実特性 ○伊藤央紀・向井啓雄・成瀬博規・八幡昌紀・原田久・高木敏彦(静岡大農学部)</p>	<p>野 011 青森県在来トウガラシ品種「弘前在来」の品種識別技術の確立および果実形質に関する調査 ○横田佳織^{1*}・相馬志穂²・川口友美²・前田智雄³・本多和茂³・嵯峨祉¹・石川隆二³・中村元彦⁴(¹元弘前大農学生命科学部,²元弘前大農学生命科学部,³弘前大農学生命科学部,⁴青森特産品セ,⁵北海道大院農学院)</p>	<p>野 039 四季成り性イチゴ「F1 エラン」の種子付き果発生と関連した胚生長の遅れ ○二本智¹・下山奈美¹・船津正人¹・高塚明宏¹・今森久弥¹・前田智雄^{1,2}・鈴木卓¹・鈴木正彦¹(¹北海道大院農,²弘前大農学生命科学部)</p>	<p>野 066 トンネルを利用した寒玉系キャベツ春どり栽培における播種期が収穫期、収量に及ぼす影響 ○町田剛史¹・山口健一²・高辻茂典²・川城英夫¹(¹千葉農林総研セ,²JAちばみどり)</p>
11:45			<p>果 066 ウンシュウミカンにおける果実硬度に着目した水分ストレス管理指標の開発 ○須崎徳高・市ノ木山浩道(三重農研紀南果樹)</p>	<p>野 012 メロンの市販品種に由来するうどんこ病抵抗性遺伝子の表現型解析 1.SSR マーカー CMBR8 に連鎖する抵抗性遺伝子について ○泉川康博¹・吹野伸子²・葛谷真輝³・宮城慎¹(¹茨城農試セ生工研,²農研機構野菜茶研,³茨城農試セ筑西地域農改普セ)</p>	<p>野 040 病害抵抗性誘導に及ぼす緑色光照射の影響(第4報)イチゴの炭そ病発生と生育および果実発育に及ぼす緑色光照射の影響 ○工藤りか・山本敬司・石田豊・小松精二(株)四国総合研究所)</p>	<p>野 067 積雪下におけるキャベツ香気成分の変化 ○篠田光江・田村晃(秋田農試セ農試)</p>

第1日 9月26日(土) 10:30~12:00

G会場 102 野菜Ⅳ	H会場 405 花きⅠ	I会場 402 花きⅡ	J会場 305 花きⅢ	K会場 107 利用Ⅰ	L会場 302 利用Ⅱ	時間
<p>野 090 アスパラガス促成栽培における若茎収量、品質および根株生育に及ぼす根株掘り取り時期の影響 ○芳賀紀之¹・園田高広^{2*} (福島農総セ会津、²福島会津農林、³福島県庁)</p>	<p>育種Ⅱ 座長 高村武二郎 花 007 スパティフィラム (<i>Spathiphyllum 'New merry'</i>) のコルヒチン処理による4倍体個体の作出 ○小笠原利恵¹・住吉裕¹・川原勇太¹・加藤淳太郎²・福井博一¹ (岐阜大応用生物科学部、²愛知教育大教育学部)</p>	<p>花 033 細胞伸長阻害剤による花弁成長制御 ○高垣奈保・松本省吾・白武勝裕・山田邦夫 (名古屋大院生命農学研究科)</p>	<p>花 060 洋ランの栽培の基本検討(5) 蒸散量の半減期と支配要因 ○井上直久¹・若澤洋樹²・根岸秀和³・熊沢博満⁴・長村智司⁵・井上恒久⁶ (1)東京農工大、²向山園圃、³根岸園芸、⁴鈴鹿フラワー、⁵大阪テクノホルティ園芸学校、⁶農環研)</p>	<p>利 007 カキタンニンの抽出方法の開発(第3報) 効果からの抽出方法の検討 ○濱崎貞弘 (奈良農総セ果樹振セ)</p>	<p>利 028 種々の温度で貯蔵した冷・温処理プロコリノの抗酸化酵素活性比較 ○張姿¹・中野浩平^{1,2}・前澤重禮^{1,2} (1)岐阜大院連合農学研究科、²岐阜大応用生物科学部)</p>	10:30
<p>野 091 アスパラガス促成栽培における株養成時の畝の大きさが株重、若茎生産に及ぼす影響 ○武田悟・本庄求・篠田光江 (秋田農技セ農試)</p>	<p>花 008 ユリにおける笑気ガス処理時期が染色体倍加花粉獲得に及ぼす影響 ○高濱雅幹^{1*}・黒島学¹・大宮知¹・鈴木亮子¹・生方雅男¹・岡崎桂一² (1)北海道花野菜技セ、²新潟大農学部、³北海道道南農試)</p>	<p>花 034 トルコギキョウ花弁におけるエクспанシンおよびエンド型キシログルカン転移酵素/加水分解酵素(XTH)の解析 ○落合正樹¹・松本省吾¹・白武勝裕¹・山田邦夫¹ (1)名古屋大院生命農学研究科)</p>	<p>花 061 マドンナリリー (<i>L. candidum</i>) の種子発芽と実生からの球根生育に及ぼす温度の影響 ○河原林和一郎 (静岡大農学部)</p>	<p>利 008 追熟温度制御によるキウイフルーツ「さぬきゴールド」の可食期間の延長 ○福田哲生¹・末澤克彦¹・久保康隆²・片岡郁雄³・坂下亨¹・山下泰生¹ (1)香川農試府中分場、²岡山農学部、³香川大農学部)</p>	<p>利 029 大きさの異なるハウレンソウの品質と収穫後の変化 ○日坂弘行 (千葉農林セ)</p>	10:45
<p>その他 (アスパラガス・トマト) 座長 村上賢治 野 092 アスパラガス「母茎地際抑倒し法」における立茎時の茎径が収量に及ぼす影響 ○坂本隆行・越智資泰・今井俊治 (広島総研農技セ、JA全農)</p>	<p>花 009 笑気ガス処理によるシンテッポウユリ倍体数の作出 ○佐藤孝夫¹・佐藤友博¹・三吉一光²・岡崎桂一³ (1)秋田農技セ農試、²秋田県立大生物資源科学部、³新潟大農学部)</p>	<p>花 035 カーネーション開花花卉におけるエンド型キシログルカン転移酵素/加水分解酵素(XTH)遺伝子の発現解析および組織活性染色 ○鳥居由佳¹・原田太郎¹・森田重人^{1,3}・原吉直²・横山隆亮²・西谷和彦²・佐藤茂^{1,3} (1)京都府大院生命環境科学研究所、²東北大院生命科学研究科、³京都生資セ)</p>	<p>キク 座長 久松 完 花 062 小ギクの倒伏性における品種間差および栽培法の影響 ○渡邊武志¹・巖間直哉¹・宮城悦子¹・関塚史朗²・仲照史³ (1)沖繩農研セ、²沖繩農大、³奈良農総セ)</p>	<p>安全性・殺菌 座長 泉 秀実 利 009 オゾンマイクロバブルによる青果物の残留農薬除去技術の確立 ○小林史幸・木村龍典・榎真由美・玉置雅彦 (明治大農学部)</p>	<p>利 030 市販ベビーリーフにおける品目構成と日持ち性 高濱雅幹¹・川岸康司¹・菅原草人¹・荒木和哉 (北海道道南農試)</p>	11:00
<p>野 093 変温管理がトマトの果実肥大および果実へのスクロースフラクセスに及ぼす影響 ○和田光生・古川一・福山雅明・中村俊洋 (大阪府大院生命環境科学研究所)</p>	<p>花 010 笑気ガス処理による不稔性ユリ種間雑種の稔性回復と得られた稔性回復花粉を用いた後代の育成 ○岡崎桂一¹・北村里美²・温井祥太郎¹・日置智代¹・大塚英昭³・三吉一光⁴・佐藤孝夫⁵・高取由佳⁶・高濱雅幹⁷ (1)新潟大農学部、²カネコ種苗、³新潟農総研園研セ、⁴秋田県立大生物資源科学部、⁵秋田県農技セ、⁶佐賀県農試研セ、⁷北海道花・野菜技術セ)</p>	<p>花持ち性・関連遺伝子 座長 森 仁志 花 036 カーネーションの花持ち性の育種に関する研究(第13報) 第5、第6世代の育成および超長命系統の選抜 ○小野崎隆¹・八木雅史¹・棚瀬幸司¹・柴田道夫¹ (農研機構花き研、²農水省技術会議事務局)</p>	<p>花 063 小ギクの開花斉一性と着葉形態の品種間差異(第2報) 秋小ギクについて ○角川由加・仲照史・小山裕三・北條真由美 (奈良農総セ)</p>	<p>利 010 水耕栽培におけるオゾンマイクロバブルを用いたフザリウム菌、軟腐病菌の殺菌について ○後藤知大¹・小島敬久¹・塚田桂太¹・榎真由美¹・玉置雅彦 (明治大農学部)</p>	<p>花き消費者ニーズ 座長 望月 寛子 利 031 花の消費層開拓に向けた調査(第1報) 花の消費者ニーズの効率的抽出方法の検討 ○鈴木美穂子¹・柳下良美 (神奈川農技セ)</p>	11:15
<p>野 094 トマト果実の肥大成長期におけるソース・シンク比と果実糖濃度との関係 ○Jan, Noor Elahi・河鱈実之 (東京大院農学生命科学研究科)</p>		<p>花 037 超長寿命カーネーション系統における老化関連遺伝子の発現解析 ○棚瀬幸司¹・大津佐和子²・佐藤茂²・小野崎隆¹ (1)農研機構花き研、²京都府大院農学研究科)</p>	<p>花 064 株間方向の密植による小ギクの開花斉一性向上 ○仲照史¹・角川由加¹・小山裕三¹・北條真由美 (奈良農総セ)</p>		<p>利 032 花の消費層開拓に向けた調査(第2報) 花の購買行動分析に基づく消費層拡大の可能性 ○柳下良美¹・鈴木美穂子¹ (神奈川農技セ)</p>	11:30
<p>野 095 トマトのつやなし果発生に及ぼす着果促進処理の影響 ○寺林敏¹・鈴木未央¹・伊達修一 (京都府大院生命環境科学研究所)</p>		<p>花 038 カラナデシコにおける <i>DeACSI</i> オートソログ遺伝子のゲノム DNA 構造の解析 ○原田太郎¹・孟娜¹・村越友友乃²・佐藤茂^{1,3} (1)京都府大院生命環境科学研究所、²京都府大農学部、³京都生資セ)</p>	<p>花 065 黄色蛍光 LED を用いた終夜のバルス点灯が秋ギクの開花に及ぼす影響 ○石倉聡¹・平間淳司²・野村昌史³・山中正仁⁴・東浦優⁴・二井清友⁴・森本泰司⁵ (1)広島総研農技セ、²金沢工大工学部、³千葉大院園芸学研究所、⁴兵庫農総セ、⁵シャープ(株))</p>			11:45

時間	A会場 342 果樹Ⅰ	B会場 343 果樹Ⅱ	C会場 254 果樹Ⅲ	D会場 203 野菜Ⅰ	E会場 103 野菜Ⅱ	F会場 101 野菜Ⅲ
9:00	<p>育種(カンキツ)Ⅰ 座長 市ノ木山浩道 果012 カンキツ新品種‘静丸早生’ について ○荒木勇二* (静岡農林研果樹研セ、静岡農林事務所)</p>	<p>遺伝子組換え 座長 田尾龍太郎 果039 リンゴ由来ソルビトール合成・ 転流・代謝遺伝子のシロイヌ ナズナにおける発現効果 ○奈島賢児¹・金山喜則²・ 山本昭平^{1*}・白武勝裕¹ (¹名古屋大院生命農学研究科、 ²東北大院農学研究科、 中部大応用生物学部)</p>	<p>ニホンナシ 座長 田村 文男 果067 ニホンナシ‘幸水’の盛土式 根圏制御栽培における着果数 の違いが樹体生育、乾物生産 および分配に及ぼす影響 ○大谷義夫^{1,3}・八巻良和² (¹栃木農試、²宇都宮大農 学部、³京農工大連合 農学研究科)</p>	<p>育種・品種 (サトイモ・タマネギ) 座長 山下謙一郎 野013 培養苗を用いた検定法による サトイモ萎凋病抵抗性系統の 選抜 ○鈴木健司・小原麻里・牛 尾進吾 (千葉農林総研セ)</p>	<p>組織培養・その他 座長 金澤 俊成 野041 ガラス化法によるエゾフサビ 培養体茎頂の超低温保存 ○木戸重範¹・嘉見大助²・ 音喜多啓秀¹・鈴木卓¹・鈴 木正彦¹ (¹北大院農、²農 研機構北海道農研)</p>	<p>栽培 (ホウレンソウ・キュウリ) 座長 古野 伸典 野068 ハウス栽培ホウレンソウの盛 夏期作の生育におよぼすコマ ツナ・サイヤゲン作付けの 影響-農家圃場における検討- ○森山真久 (農研機構東北 農研)</p>
9:15	<p>果013 重イオンビーム照射により誘 発されるウンシュウミカンの 形態変異 ○寺岡毅¹・澤野郁夫¹・中 高輝子¹・加々美裕^{1*}・神尾 章子^{1*}・林依子²・龍頭啓 充²・福西暢尚²・阿部知子² (¹静岡農林技研果樹研セ、 ²静岡農林、³静岡中遠 農林、²理研仁科セ)</p>	<p>果040 開花促進リンゴでのFT融合 GFPの検出 ○和田雅人¹・田中紀久²・ 本多親子¹・守谷友紀¹・工 藤和典¹・小森貞男³ (¹農 研機構果樹研、²弘前大農学 生命、³岩手大農)</p>	<p>果068 ナシの仕立て法の違いが、ス ビードスプレーヤ防除におけ る樹体への付着性に及ぼす影 響 ○関達哉¹・柴田健一郎¹・ 曾根田友晴¹・小林正伸¹・ 猪之奥康治² (¹神奈川農技 セ、²農研機構生研セ)</p>	<p>野014 大球・多収春播きタマネギ 新品種‘HT46’の特性 ○柳田大介¹・森尚久²・萩 原拓也²・田中理恵³・山名 一¹ (¹北海道北見農試、 ²ホクレン農総研、³北海道 網走農改普セ)</p>	<p>野042 トマト全茎切断におけるアス コルビン酸および黄化処理に よるシュート形成促進機構 ○淨岡正史・今堀義洋・古 川一・箕作和彦・山崎識知・ 田中秀幸・小田雅行 (大阪 府立大院生命環境科学研究 科)</p>	<p>野069 キュウリの同化産物の分配に 及ぼすCO₂施用の効果 ○大木浩¹・中野明正²・高 市益行²・川城英夫¹ (¹千 葉農林総研セ、²農研機構 野菜茶研)</p>
9:30	<p>果014 カンキツ主要品種および中間 母本の家系分析 ○今井篤¹・野中圭介¹・深町 浩¹・吉岡照高 (農研機構果 樹研)</p>	<p>果041 モモ由来アスコルビン酸合成 酵素遺伝子を過剰発現させた 形質転換タバコの作出 ○今井剛^{1,2}・伴雄介¹・山 本俊哉^{1,2}・森口卓哉^{1,2} (¹農研機構果樹研、²筑波 大院生命環境)</p>	<p>果069 ナシみつ症発症程度異なる 品種間および植物成長調節物 質処理果実における中性子線 投影像の差異 ○郷内武¹・井上栄一²・霞 正一¹ (¹茨城農総生工研、 ²次城大農学部)</p>	<p>野015 東南アジア産シャロットおよ びネギ染色体添加シャロット におけるアライナーゼと催涙 因子合成酵素の生産量 ○正村典也^{1,2}・フウ・クワ エン・ホア³・谷口成紀³・ 執行正義³ (¹鳥取大院連合 農学研究科、²ハウス食品 (株)、³山口大農学部)</p>	<p>野043 ベンチ栽培によるヤマイモの 種芋生産 ○後藤公美・西本登志・米 田祥二・堀川大輔 (奈良農 総セ)</p>	<p>野070 キュウリの光合成における熱 ストレス耐性は高温順化中の 培養液濃度に依存する ○光根真人・名田和義・平 塚伸 (三重大院生物資源学 研究科)</p>
9:45	<p>育種(カンキツ)Ⅱ 座長 國質 武 果015 ニンボウキンカン珠心胚への ホルモン処理から誘導され た倍体植物の形質特性 ○藤合綱希¹・八幡昌紀¹・ 安田喜一²・國武久登²・小 松春喜³・新居直祐⁴・向井 啓雄¹・原田久¹・高木敏彦¹ (¹静岡大農学部、²宮崎大農 学部、³東海大農学部、⁴名 城大農学部)</p>	<p>リンゴⅠ 座長 渡邊 学 果042 リンゴ単植園におけるマメコ バチ訪花行動 ○松本省吾¹・阿部歩²・前 島勲³ (¹名古屋大院生命農 学研究科、²岐阜大教育学 部、³長野果樹試)</p>	<p>休眠 座長 杉浦 俊彦 果070 ニホンナシ葉芽の自発休眠打 破に要する低温要求量の品種 間差異 ○須藤幸子¹・池田隆政²・ 竹村圭弘³・福田真史¹・黒 木克翁¹・平岡雅弘⁴・田村 文男⁴ (¹鳥取大院農学研究 科、²鳥取県立農業大学校、 ³鳥取大院連合農学研究科、 ⁴鳥取大農学部)</p>	<p>野016 タマネギの一次加工歩留まり に関係する要因の検討 ○室崇人・嘉見大助・杉山 慶太 (農研機構北海道農研)</p>	<p>野044 ウワバミソウの挿し芽による 繁殖-挿し穂採取部位および 挿し芽用土の影響- ○水島智史 (福井県立若狭 東高校)</p>	<p>野071 高温下におけるキュウリの光 合成反応と根からの糖渗出増 加との関係 ○松浦勇生・名田和義・吉 田洋子・長菅輝義・平塚伸 (三重大院生物資源学研究 科)</p>
10:00	<p>果016 カンキツ果肉のカロテノイド 含量の品種間差異および環境 変異 ○野中圭介¹・喜多正幸¹・ 藤井浩¹・大村三男²・生駒 吉識¹・山田昌彦¹ (¹農研 機構果樹研、²静岡大農)</p>	<p>果043 袋掛けの有無がリンゴ‘ふじ’ の貯蔵性に及ぼす影響 ○藤田知道・塩崎雄之輔 (弘 前大農学生命科学部)</p>	<p>果071 少低温要求性ナシ系統選抜の ためのRAPD解析 ○竹村圭弘¹・須藤幸子²・ 黒木克翁²・秋吉大貴³・平 岡雅弘³・田村文男³ (¹鳥 取大院連合農学研究科、²鳥 取大院農学研究科、³鳥取大 農学部)</p>	<p>育種・品種 (ネギ類・キャベツ) 座長 下村 克己 野017 ギョウジャニンニク数系統に 含まれるAlk(en)yl cystein sulphoxides (ACSOs) 組成の 特徴 ○永井翔太¹・音喜多啓秀¹・ 室崇人²・菊地貴²・杉山慶 太²・鈴木卓¹・鈴木正彦¹ (¹北海道大院農、²農研機 構北海道農研)</p>	<p>栽培(光源・光質) 座長 浜本 浩 野045 都合により発表取り下げ</p>	<p>果実肥大 (メロン・スイカ) 座長 寺林 敏 野072 都合により発表取り下げ</p>
10:15	<p>果017 カンキツ8品種における冷温 貯蔵中の食味、果実品質の変 化と腐敗果の発生 ○岩崎光徳・深町浩・西川 美英恵・今井篤・野中圭介・ 佐藤景子 (農研機構果樹研)</p>	<p>果044 ‘SnowDrift crabapple’のリン ゴ受粉樹としての利用方法 ○菊地秀喜・鶴飼真澄・ 池田裕章・大沼欣生 (宮城 農園研、²宮城農産園芸 環境課)</p>	<p>果072 ニホンナシ主要品種の芽の自 発休眠打破に及ぼすアンミ D処理の影響 ○黒木克翁¹・秋吉大貴²・ 竹村圭弘³・須藤幸子¹・武 田誠⁴・富山政之⁴・田村文 男² (¹鳥取大院農学研究科、 ²鳥取大農学部、³鳥取大院 連合農学研究科、⁴日本カー байд工業(株))</p>	<p>野018 ネギ属植物 (<i>Allium</i> spp.) に おける香気特性と alk(en) yl cystein sulphoxides (ACSOs) 組成の比較 ○菊地貴¹・永井翔太²・室 崇人¹・篠田浩一¹・嘉見大 助¹・杉山慶太¹・鈴木卓²・ 鈴木正彦² (¹農研機構北海 道農研、²北海道大院農学 研究院)</p>	<p>野046 八倍体イチゴの野生種系統 <i>Fragaria chiloensis</i> L. ‘CHI- 24-1’の花芽分化に及ぼす 光質の影響 ○加藤賢一郎・柳智博 (香 川大農学部)</p>	<p>野073 メロン果実における果実肥大 と糖集積に及ぼす4-CPAと SADHの処理時期の影響 ○上田秀昭¹・菊池章¹・中 坪雄太¹・松本淳²・松下和 佳子¹・加納恭卓¹ (¹石川 県立大、²石川県南加賀総 合事務所)</p>
10:30	<p>ブドウⅠ 座長 馬場 正 果018 4倍体無核ブドウ‘あづまし ずく’の糖度、酒石酸と気象 要因との関係を考慮した収穫 適期の把握法 ○佐藤守 (福島農総セ果樹研)</p>	<p>リンゴⅡ 座長 菊地 秀喜 果045 優占草種の違いが乗用モア- によるわい化リンゴ樹冠下 の除草に及ぼす影響 ○土師岳¹・高梨祐明¹・足立 嘉彦 (農研機構東北農研)</p>	<p>果073 ウメ自発休眠芽で発現する MADS-box 遺伝子群の低温 による発現低下 ○上達弘明¹・大岡智美¹・佐々 木隆太¹・山根久代¹・尾籠 太郎¹・米森敏三 (京都大学 農学研究科)</p>	<p>野019 短葉性ネギ品種‘ふゆわらべ’ の育成とその特性 ○若生忠幸・小島昭夫・山 下謙一郎・塚崎孝・小原隆 由¹・坂田好輝 (農研機構野 菜茶研)</p>	<p>野047 トマト cry1 突然変異体の胚軸 における青色光・UV-A およ びUV-B照射によるアントシ アニン合成の誘導 ○河野喜子・河野実之 (東 京大院農学生命科学研究科)</p>	<p>野074 メロン果実における果実肥大 と糖集積の品種間差異 ○中坪雄太¹・上田秀昭¹・ 菊池章¹・松本淳²・松下和 佳子¹・加納恭卓¹ (¹石川 県立大、²石川県南加賀総 合事務所)</p>

G会場 102 野菜IV	H会場 405 花きI	I会場 402 花きII	J会場 305 花きIII	K会場 107 利用I	L会場 302 利用II	時間
<p>栽培(トマト)Ⅰ 座長 安場健一郎</p> <p>野 096 「防根給水ひも」による果菜類の養水分需給バランス栽培法の開発(第11報) トマト栽培における緩効性肥料の培土混和とひも上「置き肥」の効果 ○今野裕光・村上賢治・榊田正治(岡山大院自然科学研究科)</p>	<p>遺伝子解析Ⅰ 座長 細川 宗孝</p> <p>花 011 SSR領域のDNA分析による肥後ツバキの系統樹に関する研究 ○田中孝幸¹・谷口郁也²・吉田希香¹(¹東海大農学部,²農研機構野菜茶研)</p>	<p>組織培養 座長 三吉 一光</p> <p>花 039 非加熱滅菌法を用いた簡易液体培養における微生物汚染の低減と植物の育成促進 水田洋一・○宮坂清昭・辰巳直子・土井元章・矢澤進(京都大院農学研究科)</p>	<p>トルコギキョウⅠ 座長 福田 直子</p> <p>花 066 播種時期、加温及び電照による鉢物トルコギキョウの5月上旬出荷技術 ○市東豊弘(千葉農総研セ)</p>	<p>機能性成分Ⅰ 座長 一法師成成</p> <p>利 011 スイカにおける生理活性物質の機能解析と利用 ○足立勝¹・黒木梨加¹・倉田裕文²・武櫻³・王建榮³・張開放³(¹宮崎大院農学研究科,²(株)下森建装アグリバイオ事業部,³中国湖北省開放美業(集团)有限公司)</p>		9:00
<p>野 097 灌水方法の違いがトマトの養分吸収と収量におよぼす影響 ○吉田千恵^{1*}・岩崎泰永¹(¹宮城農園研, 東北大院)</p>	<p>花 012 アシレア及びびやママジサイ品種及び野生種におけるレトロトランスポソンの転写 ○上町達也・右川紗久佳・菱田美紀・奥村麻未・林憲司(滋賀県大環境科学部)</p>	<p>花 040 アシレアの節培養および不定芽利用による in vitro 大量増殖 ○細木高志・山根智子(島根大生物資源科学部)</p>	<p>花 067 閉鎖型育苗装置を活用したトルコギキョウの生育期間短縮および切り花品質向上 ○山田明日香・葉山拓郎・佐伯一直・谷川孝弘・中村知佐子(福岡農総試)</p>	<p>利 012 スイートピーにおける抗老化成分 足立勝¹・黒木梨加¹・○倉田裕文²・武櫻³・王建榮³・倉田理恵⁴(¹宮崎大院農学研究科,²(株)下森建装アグリバイオ事業部,³中国湖北省開放美業(集团)有限公司,⁴農研機構九州沖繩農研)</p>		9:15
<p>野 098 ヒートポンプによる夏秋季夜間の環境制御が3段階心トマトの生育に及ぼす影響 ○大石直記¹・守谷栄樹²(¹静岡農林研,²中部電力(株)エネルギー応用研)</p>	<p>花 013 リンドウ培養物における細胞分裂関連遺伝子の発現解析 ○武藤景子¹・鈴木誉子²・金山喜則³(¹福島農総セ,²福島県中農林普,³東北大院農学研究科)</p>	<p>花 041 冷陰極蛍光ランプ(CCFL)光源下の Super-CO₂ enrichment において培養したシンビジウムクローン苗の光合成能力の抑制反応とその改善 ○則包篤志・高村武二郎・諸隈正裕・田中道男(香川大農学部)</p>	<p>花 068 短時間遠赤色光照射の照射時間帯と光強度がトルコギキョウの生育に及ぼす影響 岸本真幸¹・○前田香那子¹・加藤正浩¹・山田真²・石渡正紀²・住友克彦³・久松完³(¹鳥取農林総研園試,²パナソニック電工,³農研機構花き研)</p>	<p>利 013 ラッキョウの新規用途開発について ○黒木梨加¹・吉田知世¹・倉田裕文²・倉田理恵³・谷口義弘⁴・横山浩平⁴・川合敏之⁵・足立勝¹(¹宮崎大農学部,²(株)下森建装,³農研機構九州沖繩農研,⁴(株)霧島食品工業,⁵(株)林原商事)</p>		9:30
<p>野 099 夏期トマト栽培ハウスにおける遮光と循環扇の利用が作業負担の軽減に及ぼす影響 ○草川知行・塚本崇志・井上満¹(千葉農林総研セ,²JA千葉みらい)</p>	<p>遺伝子解析Ⅱ 座長 上町 達也</p> <p>花 014 アサガオ刷毛目絞変異体に生じる斑入り模様形成機構の解析 ○森田裕将¹・星野敦¹・飯田滋¹(基生研, 農研機構花き研, 静岡県立大院薬学研究科)</p>	<p>花 042 西表島に自生するシダ植物の胞子の貯蔵に関する研究 田中孝幸¹・○石田剛士²・福永真広¹・川添良子¹(¹東海大農学部,²(株)花の海)</p>	<p>花 069 短時間加温処理の時間帯と遠赤色光照射の併用がトルコギキョウの生育に及ぼす影響 ○岸本真幸¹・加藤正浩¹・前田香那子¹・山田真²・石渡正紀²・道園美弦³・住友克彦³・久松完³(¹鳥取農林総研園試,²パナソニック電工,³農研機構花き研)</p>	<p>利 014 サツマイモに含まれるカフェオイルキナ酸類の骨粗鬆症予防効果 ○倉田理恵¹・吉元誠¹・倉田裕文²・足立勝³(¹農研機構九州沖繩農研,²下森建装,³宮崎大農学部)</p>		9:45
<p>栽培(トマト)Ⅱ 座長 松永 啓</p> <p>野 100 単為結果性トマト品種を利用した冬季無加温栽培の試み ○片岡圭子・西川浩次・榊原俊雄・札基高志・矢澤進(京都大院農学研究科)</p>	<p>花 015 限界日長の異なるキクタンニクを用いた光周性花成誘導機構の解析 ○小田篤¹・久松完(農研機構花き研)</p>	<p>繁殖・生理活性物質 座長 西島 隆明</p> <p>花 043 キンラン 無菌培養苗の樹木寄せ植えによる順化・栽培の検討 ○山崎旬¹・大庭竜介¹・三吉一光²(¹玉川大農学部,²秋田県立大生物資源科学部)</p>	<p>トルコギキョウⅡ 座長 岸本 真幸</p> <p>花 070 冬季に開花するトルコギキョウの生育と切り花の形質に及ぼす育苗週数の影響 ○福島啓吾・梶原真二・石倉聡・原田秀人(広島総研農研セ)</p>	<p>利 015 サツマイモ苗床におけるトレハロース葉面散布が苗の生育に与える影響 ○小林透¹・倉田理恵¹・鈴木崇之¹・川合敏之²(¹農研機構九州沖繩農研,²(株)林原)</p>		10:00
<p>野 101 高糖度トマトの根域制限栽培における日射比制御でのかん水量および追肥量の違いが収量、品質に及ぼす影響 ○新田益男・小松秀雄・細川卓也・玖波井邦昭(高知農研セ,²高知県流通支援課)</p>	<p>花 016 キクにおいてジベレリンは FLORICAULA/LEAFY 相同遺伝子である CnFL の発現を促進し花芽分化を誘導する ○住友克彦¹・李托平²・久松完(農研機構花き研, 遼寧大)</p>	<p>花 044 GA₃施用はファレノプシスの頂芽の花芽分化を誘導する 窪田聡^{1,2}・○堀本大雅²・宮崎瑞穂¹・田口敦子¹・腰岡政二^{1,2}(¹日本大生物資源科学部,²日本大院生物資源科学研究所)</p>	<p>花 071 トルコギキョウの冬期出荷栽培での発育ステージごとの栽培温度が生育と開花に及ぼす影響 ○工藤陽史・山口茂(熊本農研セ)</p>	<p>機能性成分Ⅱ 座長 小川 一紀</p> <p>利 016 カンキョウ培養砂じょうのカロテノイド関連遺伝子の発現に及ぼす培地中のスクロースならびにマンニトール濃度の影響 ○沖松明史¹・橋野絳幸¹・馬剛²・張嵐翠¹・加藤雅也¹・山脇和樹¹・高木敏彦¹・松本光³・生駒吉識³・根角博久⁴・吉岡照高³(¹静岡大農学部,²岐阜大院連合農学研究科,³農研機構果樹研,⁴農研機構近中農研)</p>		10:15
<p>野 102 トマトの果実体積測定による日本およびオランダ品種の果実肥大と着果量の特性比較 ○吉田剛¹・高市益行²・佐々木英和³・安場健一郎²・中野明正²(¹栃木農試,²農研機構野菜茶研,³農林水産省)</p>	<p>遺伝子組換え 座長 大宮あけみ</p> <p>花 017 イネフロリゲン遺伝子(Hd3a)導入キク「神馬」における低温遭遇が開花に及ぼす影響 ○浅尾浩史¹・長谷部千絵²・玉置祥二郎²・仲昭史¹・辻寛之²・島本功²(¹奈良農研セ,²奈良先端大バイオ)</p>	<p>花 045 ファレノプシスの花成誘導期間中の腋芽における内生植物ホルモンの動態 ○窪田聡^{1,2}・堀本大雅²・宮崎瑞穂¹・田口敦子¹・大橋恵利佳¹・濱田理絵¹・腰岡政二^{1,2}(¹日本大生物資源科学部,²日本大院生物資源科学研究所)</p>	<p>花 072 低照度下における二酸化炭素施用および昼温がトルコギキョウのプラスチックに与える影響 ○牛尾亜由子・福田直子(農研機構花き研)</p>			10:30

時間	A 会場 342 果樹 I	B 会場 343 果樹 II	C 会場 254 果樹 III	D 会場 203 野菜 I	E 会場 103 野菜 II	F 会場 101 野菜 III
10:45	果 019 ブドウ樹冠内における水ストレスの分布 ○山根崇嘉 ^{1*} ・浜名洋司 ¹ ・中野幹夫 ² (¹ 広島総研農技セ, ² 京都府大生命環境科学研究科, ³ 農研機構果樹研)	果 046 リンゴ JM 台木を使用した低樹高栽培における作業省力性 ○工藤和典・守谷友紀・別所英男・増田哲男・猪俣雄司・和田雅人・本多親子・副島淳一 (農研機構果樹研)	核果類 I 座長 土田 靖久 果 074 ウメ低樹高ジョイント仕立て3年生樹の収量・果実品質 ○柴田健一郎・曾根田友暁・関達哉・小林正伸 (神奈川農技セ)	野 020 夏まきキャベツ栽培における芯長の品種間差異および形質間相関 ○大川浩司・三浦広夫 (愛知農総試東三河農研)	野 048 高 R/FR 比の育苗によってキュウリのタバココナジラミに対する抵抗性が向上する ○渋谷俊夫 ¹ ・小室惇輝 ² ・平井規央 ¹ ・坂本佳子 ¹ (¹ 大阪府大院生命環境科学, ² 大阪府大生命環境科学部)	野 075 都合により発表取り下げ
11:00	果 020 ブドウ 'ビオーネ' における開花期の高温処理が結実および幹径の肥大に及ぼす影響 ○西川祐司・浜名洋司・須川瞬 (広島総研農技セ)	果 047 リンゴ 'はるか' 果実の糖蓄積および光合成産物の転流特性 ○渡邊学 ¹ ・小山田知広 ² ・壽松木章 ² ・村上政伸 ¹ ・佐川了 ¹ ・小森貞男 ² ・荒川修 ³ (¹ 岩手大農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研セ, ² 岩手大農学部, ³ 弘前大農学部)	果 075 ウメ樹体の凍結過程と花器の霜害 ○朝倉利員・阪本大輔・杉浦裕義・杉浦俊彦・山口正己 (農研機構果樹研)	育種・品種 (イチゴ) 座長 沖村 誠 野 021 イチゴの二倍体種 <i>Fragaria vesca</i> と八倍体種 <i>F. × ananassa</i> との種間交雑五倍体実生における DNA (SSR) 多型 ○柳智博 ¹ ・岩田貴志 ¹ ・ナスワットブリーダ ¹ ・曾根一純 ² (¹ 香川大農学部, ² 農研機構九州沖縄農研)	病害虫・生理障害 座長 山崎 浩道 野 049 低濃度エタノールによるキュウリのネコブセンチュウ防除 ○大木浩・○川城英夫・井上満・武田藍 (千葉農林総研セ, ² JA 千葉みらい)	栽培・その他 (スイカ) 座長 杉山 充啓 野 076 スイカにおける貯蔵温度が果実品質に及ぼす影響 ○山根信三 ¹ ・村上巧実 ¹ ・尾形凡生 ¹ ・杉山慶太 ² (¹ 高知大農学部, ² 農研機構北海道農研)
11:15	ブドウ II 座長 本多 親子 果 021 温度・光の組合せ処理がブドウ果皮のアントシアニン含量と着色関連遺伝子の発現量に及ぼす影響 ○東暁史 ¹ ・薬師寺博 ¹ ・児下佳子 ¹ (農研機構果樹研 (安芸津))	リンゴ III 座長 土師 岳 果 048 リンゴわい性台木の簡便な樹相診断手法 ○大野浩・田村博明 (岩手農研セ)	果 076 Real-time PCR を用いたウメにおける花芽形成関連遺伝子 <i>PmFT</i> および <i>PmTFL1</i> の発現解析 ○北村祐人・萩原千耶・江角智也・田尾龍太郎 (京都大院農学研究科)	野 022 二倍体、四倍体および六倍体野生イチゴの核型分析 ○ナスワットブリーダ ¹ ・ハマーキム ² ・岩坪美兼 ³ ・曾根一純 ⁴ ・柳智博 ¹ (¹ 香川大農学部, ² USDA・ARS・National Clonal Germplasm Repository, ³ 富山大理学部, ⁴ 農研機構九州沖縄農研)	野 050 トウガラシ果実中 Ca 濃度と尻腐れ果発生に及ぼす培養液中 Ca:K 比率の影響 ○吉田裕一 ¹ ・○難波博史 ¹ ・阿部由美子 ² (¹ 岡山大院自然科学研究科, ² 岡山大農学部)	野 077 スイカ果実内水分状態の分布と糖濃度の関係 ○深澤達人・池田敏 (明治大農学部)
11:30	果 022 ブドウ安芸クイーンの実粒の糖集積と着色に及ぼす夜間果房加温処理の影響 ○加納恭卓・上田秀昭・菊池章・中坪雄太・池上礼子・松下和佳子 (石川県立大)	果 049 リンゴわい性台木における幹内蒸散流量と幹の水透過率および根の構造との関係 ○岩波宏・森谷茂樹・阿部和幸 (農研機構果樹研 (盛岡))	核果類 II 座長 柴田健一郎 果 077	野 023 四季成り性イチゴ新品種 'サマードロップ' の育成 ○鹿野弘・高野岩雄 (宮城農園研)	野 051 ネギ連作障害における土壌消滅剤の防除効果 ○白岩裕隆 [*] ・○伊垢離孝明・田村佳利・福本明彦 (鳥取農林総研園試, ² 鳥取農大)	野 078 山形県内陸部のハウス抑制栽培におけるスイカ '祭ばやし 777' の軟 X 線照射花粉を用いた種なし化 ○森和也 ¹ ・高橋玲子 ¹ ・齋藤克哉 ¹ ・杉山慶太 ² (¹ 山形農総研七園試, ² 農研機構北海道農研)
11:45	果 023 ブドウの小胞体ストレス応答タンパク質 VIGG は生育阻害を誘導する ○加藤裕紀・河野美奈子・藤田景子・鈴木俊二 (山梨大ワイン研セ)	果 050 イチジクにおける台木の種類と台木部主幹長が穂木の成長に及ぼす影響 ○尾形凡生 ¹ ・眞野嵩史 ¹ ・遠藤歩 ¹ ・濱田和俊 ¹ ・長谷川耕二郎 ¹ ・細見彰宏 ² ・粟村光男 ³ (¹ 高知大農学部, ² 大阪府環農総研, ³ 福岡農総試堂前分場)	果 078 ウメ '南高' の摘心ならびに摘葉処理が果実の紅色発色に及ぼす効果 ○竹中正好・大江孝明 (和歌山農総試セ果試うめ研)	野 024 四季成り性イチゴ品種の花芽分化、開花および開花葉数の品種間差異 ○森下昌三・本城正憲・濱野恵・山崎浩道・矢野孝喜 (農研機構東北農研)		野 079 種なしスイカの結実肥大と品質に及ぼす植物成長調節物質の影響 ○山根信三 ¹ ・○藤原理恵 ¹ ・尾形凡生 ¹ ・杉山慶太 ² (¹ 高知大農学部, ² 農研機構北海道農研)

第2日 9月27日(日) 10:45～12:00

G会場 102 野菜IV	H会場 405 花きI	I会場 402 花きII	J会場 305 花きIII	K会場 107 利用I	L会場 302 利用II	時間
<p>野103 閉鎖型苗によるトマトの簡易・一段密植養液栽培システムの確立と実証(第4報)根域冷却による高品質化技術の実用性評価 ○山田圭太¹・由比進²・東野裕広¹・本城正憲²・片岡園²・板木利隆³(¹JA全農営技セ,²農研機構東北農研,³板木技術士事務所)</p>	<p>花018 RNAi法を用いた chalcone synthase (CHS) 遺伝子の発現抑制によるホトトギス(<i>Tricyrtis hirta</i>)の花色改変 ○上石友紀子¹・高木安樹¹・森志郎²・小林仁³・中野優¹(¹新潟大農学部,²拓殖大北海道短大環境農学科,³新潟農総研)</p>	<p>球根類 座長 窪田 聡 花046 グロリオサの塊茎の休眠に及ぼすGA散布の影響 ○二宮千登志¹・平石真紀¹・飯尾京子¹・深井誠²(¹高知農技セ,²香川大農学部)</p>	<p>花073 短日低照度条件下におけるトルコギキョウのブラスチンゲに対するサイトカイニン剤の効果 ○福田直子・牛尾亜由子・西島隆明(農研機構花き研)</p>	<p>利018 ゴマの生育ならびに葉のセサミン含量とCYP81Q1発現量に及ぼす日長の影響 ○畑直樹¹・林義則¹・岡澤敦司¹・小埜栄一郎²・佐竹炎³・小林昭雄^{1*}(¹大阪大院工学研究科,²サントリーホールディングス(株),³サントリー生有研,[*]大阪大 RISS)</p>		10:45
<p>栽培(トマト)Ⅲ 座長 岩崎 泰永 野104 トマト低段密植栽培2次育苗期において補光が生育に与える影響 ○高橋拓也¹・鈴木克己²・安場健一郎²・高市益行²・星岳彦³(¹岩手農研セ,²農研機構野菜茶研,³東海大学)</p>	<p>花019 シロイヌナズナ由来のTCP3キメラリプレッサー遺伝子を導入したトレンシアの形態について ○嶋海貴子^{1*}・間竜太郎²・小山知嗣^{3**}・深井誠¹・高木優³・大坪憲弘²(¹香川大農学部,²農研機構花き研,³産総研・ゲノムファクトリー, 京都大院生命科学研究科)</p>	<p>花047 ハカタユリのウイルスフリー球根の育成 ○Nguyen Quoc Thien¹・増田純一郎²・比良松道一³・竹下稔³・金鐘和⁴・大久保敬³(¹九州大院生物資源環境科学府,²九州大熱研セ,³九州大院農学研究院,⁴韓国江原大院園芸学科)</p>	<p>エチレン 座長 久保 康隆 利019 ニホンナシ ACC 合成酵素遺伝子 <i>PpaACS2</i> の転写因子の単離と相互作用解析 ○板井章浩・新田順子(鳥取大農学部)</p>	11:00		
<p>野105 異なる栽植密度で栽培した一段収穫トマトにおける摘葉処理が光合成ならびに炭素分配に及ぼす影響 ○福田直也¹・長谷川浩樹²・七ヶ高也³・斎藤岳士¹・松倉千昭¹・江面浩¹(¹筑波大院生命環境科学研究所,²新潟県庁,³生資研)</p>	<p>形態生理 座長 中野 優 花020 サイトカイニン関連遺伝子を導入して花形の変化したトレンシアの解析 ○仁木智哉・間竜太郎・Taximaimaiti Mahesumu・仁木朋子・西島隆明(農研機構花き研,[*]Yili Teachers Univ.)</p>	<p>花048 RT-PCR法によるランタンキュラスのウイルス診断 ○村上恭子¹・石川浩一²(¹香川農試,²農研機構近中四農研)</p>	<p>利020 カキ効果における樹体エチレン阻害要因と蒸散流による果実への水供給との関係 ○孫寧静¹・足立文彦²・門脇正行²・中務明²・江角智也²・山田佳織²・森本崇永²・板村裕之²(¹鳥取大院連合農学研究科,²鳥根大生物資源科学部)</p>	11:15		
<p>野106 トマトの低段多段組合せ栽培体系モデルの構築 ○北宜裕¹・廣瀬一郎¹・杉山隆行²・室井義広¹・丸尾達³(¹神奈川農技セ,²JA横浜管内生産者,³千葉大院)</p>	<p>花021 異なる花型をもつトルコギキョウの開花過程における花弁の形の変化 ○新居加恵子・河崎実之(東京大院農学生命科学研究科)</p>	<p>バラⅠ 座長 原 靖英 花049 低夜温管理下のバラに対する発光ダイオード及び高圧ナトリウムランプによる補光の効果 ○諸富保司・清松慎司(大分農研花き)</p>	<p>利021 イチゴ「章姫」の収穫後の品質変化に及ぼすエチレンの影響 ○小泉明嗣¹・曾我綾香¹・吉田誠¹・植村泰介²・馬場正²(¹神奈川農技セ,²東京農大農学部)</p>	11:30		
<p>野107 トマトの低段多段組合せ栽培体系モデルの実証 ○廣瀬一郎¹・北宜裕¹・杉山隆行²・室井義広¹・丸尾達³(¹神奈川農技セ,²JA横浜管内生産者,³千葉大院)</p>	<p>花022 ベチュニアの大輪化におけるサイトカイニン受容体の役割 ○西島隆明・仁木朋子・仁木智哉(農研機構花き研)</p>	<p>花050 ヒートポンプによる室内加温と培地加温の併用によるバラの切り花生産 ○梶原真二・石倉聡・原田秀人・福島啓吾(広島総研農技セ)</p>		11:45		

第2日 9月27日(日) 13:00~14:00

時間	A 会場 342 果樹 I	B 会場 343 果樹 II	C 会場 254 果樹 III	D 会場 203 野菜 I	E 会場 103 野菜 II	F 会場 101 野菜 III
13:00	ブルーベリー他 座長 國武 久登 果 024 着果負担がブルーベリーの個 葉の光合成速度、新梢生長量 および果実収量に及ぼす影響 —ハイブッシュブルーベリー 'Weymouth' とラビットアイ ブルーベリー 'Tifblue' を比 較して— ○井山佳代子・亀有直子・ 荻原勲(東京農工大農学部)	不和合性(ニホンナシ) 座長 桜井 健二 果 051 ニホンナシ <i>S4-RNase</i> 周辺 BAC コンティグの塩基配列 解析 ○岡田和馬 ^{1*} ・戸中希 ¹ ・市 川雄彦 ¹ ・澤村豊 ² ・中西テ ツ ¹ ・安田(高崎) 剛志 ¹ (¹ 神戸大院農学研究所, ² 農研機構果樹研)	核果類 III 座長 河合 義隆 果 079 アーバスキュラー菌根菌, <i>Gigaspora margarita</i> の胞子内 および表面に生息する細菌 と日本の果樹の主要土壌病 原菌 <i>Roselinia necatrix</i> の生長 に対する阻害効果 ○クルスアンドレフレイリ・ 竹森広大・戸田雄太・石井 孝昭(京都府立大院生命環 境科学研究所)	マーカー 座長 千葉 直樹 野 025 レタス F ₁ 品種育成のための 雌性不稔マーカーの開発 ○林麻衣 ¹ ・芹澤啓明 ² ・佐々 英徳 ¹ ・木庭卓人 ¹ (¹ 千葉 大院園芸学研究所, ² 長野 野菜花き試)	養液栽培 座長 池田 敬 野 052 水耕栽培の施設全面ベッドに おける片屋根型低棟ハウスで のネギの夏季の生育 ○越智資泰 ¹ ・畔柳武司 ² ・ 長崎裕司 ² ・今井俊治 ³ (¹ 広島総研農技セ, ² 近中 四農研, ³ 全農)	栽培・その他 (ナス・ピーマン類) 座長 新田 益男 野 080 大型苗を用いた育苗長期化が 加温栽培水ナスの収量と暖房 コストに及ぼす影響 ○鈴木敏征(大阪環水総研)
13:15	果 025 都合により発表取り下げ	果 052 ニホンナシの自家不和合性 に関する研究.(第54報) 重金 属イオンによる自家不和合性 打破 ○林田大志・堀川晃宏・平 塚伸・名田和義(三重大院 生物資源学研究所)	果 080 モモ着果枝における開花時 期の違いと果実生育日数と の関係 ○長谷川耕二郎 ¹ ・濱田和 俊 ² ・尾形凡生 ² (¹ 高知大 名誉教授, ² 高知大農学部)	野 026 ヤマノイモ SSR マーカーの 開発 ○初山慶道 ¹ ・相坂直美 ² (¹ (地独)青森産技セ弘前 研, ² 上北地域県民局)	野 053 水耕栽培によるプロコリ ー・ラブの葉菜としての周年 栽培の可能性の検討 ○伊達修一・古藤恵理・寺 林敏(京都府大院生命環境 科学研究所)	野 081 疫病・青枯病抵抗性台木「台 パワー」を用いたパブリカの 育苗における穂木との播種間 隔が接ぎ木条件に及ぼす影響 ○古野伸典 ¹ ・松永啓 ² (¹ 山 形県内農技普産地研, ² 農 研機構野菜茶研)
13:30	果 026 個別収穫および房取り収穫し たブルーベリー果実の品質 ○小林幹夫 ¹ ・堀内尚美 ² ・ 車敬愛 ² ・荻原勲 ² (¹ 恵 女学園人間社会学部, ² 東京農工大連合農学研 究科)	果 053 ニホンナシ「幸水」のガンマ 線照射花粉の交雑により獲得 した自家不和合性突然変異系統 の特性 2.花粉側自家不和合性 系統 '415-1' 後代における 自家不和合性プロタイプの 遺伝 ○間瀬誠子・澤村豊・高田 教臣・西尾聡悟・西谷千佳 子・齋藤寿弘・壽和夫・池 谷祐幸(農研機構果樹研)	果 081 モモの樹形の違いが薬剤到達 性に及ぼす影響 ○志村浩雄 ¹ ・永山宏一 ² (¹ 福島農総セ果樹研, ² 福 島農総セ)	野 027 ニラの複相大胞子形成性と連鎖 する DNA マーカーの開発 ○山下謙一郎・塚崎光・若 生忠幸・小島昭夫(農研機 構野菜茶研)	野 054 湛液流動水耕において高濃度 溶存酸素処理したコマツナの 生育促進に及ぼす苗齢および 遮光処理の影響 ○切岩祥和 ¹ ・西尾直人 ¹ ・ 大澤玲子 ¹ ・和田瑞紀 ¹ ・正 宗達樹 ² ・糠谷明 ¹ (¹ 静岡 大農学部, ² (株)ハマネツ)	野 082 果菜類における炭酸ガス施用 技術(第3報) カラーピーマ ンにおける炭酸ガス施用効果 ○力武弘・蘭半田真作・黒木 利美・渡司照久(宮崎総農試)
13:45	果 027 アセロラ (<i>Malpighia emarginata</i> DC.) の開花:品種と温度に ついて ○田中聡史(東京農大農学部)	果 054 ニホンナシ花柱における不和 合花粉管先端部の微細構造の 変化 ○河野友美・山北由貴・太 田文清・朴杓允・中西テツ・ 安田(高崎) 剛志(神戸大 農学研究所)	果 082 モモ「紅清水」における果肉 障害の発生に及ぼす果実発育 日数の影響 ○津谷健太・福田文夫・久 保田尚浩(岡山大院自然科 学研究所)	野 028 ネギの辛味に関する QTL 解 析 ○塚崎光・山下謙一郎・小 島昭夫・若生忠幸(農研機 構野菜茶研)	野 055 水耕ミツバ作物中の硝酸イオン 濃度を低下させる栽培法 ○嘉悦佳子 ¹ ・森川信也 ¹ ・ 磯部武志 ¹ ・中村謙治 ² ・阿 部一博 ³ (¹ 大阪環水水総研, ² (株)エスベックミック, ³ 大阪府大院生命環境科学 研究所)	野 083 窒素安定同位体比および無機 元素組成によるパブリカの原 産国推定 ○中野明正 ¹ ・淨閑正史 ² ・ 高市益行 ¹ (¹ 農研機構野菜 茶研, ² 大阪府大院生命環 境科学研究所)

第2日 9月27日(日) 13:00～14:00

G会場 102 野菜Ⅳ	H会場 405 花きⅠ	I会場 402 花きⅡ	J会場 305 花きⅢ	K会場 107 利用Ⅰ	L会場 302 利用Ⅱ	時間
	<p>色素 座長 中山 真義</p> <p>花 023 イボメア属植物の花弁におけるカロテノイド組成の比較と生合成酵素遺伝子の発現解析 ○山溝千尋・岸本早苗・大宮あけみ(農研機構花き研)</p> <p>花 024 ヤブツバキ ‘玉之浦’ 花弁における白覆輪形成 ○立石信峰¹・尾崎行生²・大久保敏²(¹九州大院生物資源環境科学府,²九州大院農学研究院)</p> <p>花 025 ペチュニア品種の起源—<i>Petunia axillaris</i> の <i>Hf2</i> 遺伝子の活性— ○小川優理子¹・松原紀嘉²・渡辺均²・國分尚²・安藤敏夫¹(¹千葉大院園芸学研究所,²千葉大環境健康フィールド科セ)</p>	<p>バラⅡ 座長 梶原 真二</p> <p>花 051 空気熱源式ヒートポンプを用いた夏夜間冷房が数種のバラの収量品質に及ぼす影響 ○佐藤展之^{1*}・守谷栄樹²・安井清登³・野々下智泰⁴(¹静岡農林研,²中部電力(株),³三菱重工空調システム(株),⁴ネボン(株))</p> <p>花 052 バラの夏期培地冷却が収量および切り花品質に及ぼす影響 ○原靖英・深山陽子・柳下良美(神奈川農技セ)</p> <p>花 053 バラの緩速ろ過法を用いた循環式養液栽培における培養液管理法 ○西村林太郎¹・末松優²・堀口佳代²・工藤則子³・佐藤武義³(¹山形県庁生産技術課,²MKVドリーム(株)(元大洋興業(株)),³山形園試)</p>				13:00
						13:15
						13:30
	<p>花 026 <i>Petunia reitzii</i> の葉におけるアントシアニン蓄積とその遺伝 ○西岡恵理華¹・松原紀嘉²・渡辺均²・國分尚²・安藤敏夫¹(¹千葉大院園芸学研究所,²千葉大環境健康フィールド科セ)</p>					13:45